

プロトコール

第1回 日本トルクメニスタン/トルクメニスタン日本経済合同会議

1994年10月6・7日、東京にて第1回日本トルクメニスタン・トルクメニスタン日本経済合同会議を開催した。

日本側団長は、室伏 稔・日本トルクメニスタン経済委員会会長・伊藤忠商事社長が務め、トルクメニスタン側団長は、クリエフ チャルイ・トルクメニスタン日本経済委員会会長臨時代理・トルクメニスタン対外経済関係大臣が務めた。

1. 合同会議には、以下の政府関係者が出席、スピーチを行った。

- 野村・外務省 欧亜局長
- 伊佐山・通商産業省 通商政策局次長

2. 合同会議には、14の主要日本企業から、42名の代表者が出席した。
合同会議では以下の報告が行われた。

- 基調報告・室伏会長（伊藤忠商事社長）
- 基調報告・「過渡期に向かうトルクメニスタン経済」クリエフ会長臨時代理
- 「トルクメニスタンの輸送の発展の展望」ハルイコフ国有鉄道総裁
- 「トルクメニスタンの銀行制度」グルバンムラドフ対外経済活動銀行頭取
- 「日本企業の経済協力」松村副会長（丸紅常務取締役）
- 「トルクメニスタンの農業コンプレックスの現状と見通し」チャルイエフ
農業食糧省次官
- 「日本の貿易保険について」永野副会長代理（三菱商事取締役）
- 「自動車のマーケティング」佐藤副会長（三井物産専務取締役）

3. 双方は、トルクメニスタン独立後の日本・トルクメニスタン間経済交流の活発化に、満足の意を示すと共に、今後の日本・トルクメニスタン両国間の貿易拡大に務めることに合意した。

4. 本経済合同会議の開催中、トルクメニスタン代表団は、以下の政府関係組織に表敬訪問を行った。

- 通商産業省 谷畑 政務次官
- 日本輸出入銀行 南学 理事
- 外務省 野村 欧亜局長
- OECF(海外経済協力基金) 佃副総裁

5. 日本側は、トルクメニスタンの燃料エネルギー分野及び工業分野に於ける潜在力並びにその発展計画につき説明を受け、これに可能な限り協力することを表明した。

6. 双方は、第2回日本トルクメニスタン・トルクメニスタン日本経済合同会議を、双方にとって好都合な時期に、トルクメニスタンで開催することに合意した。

本プロトコールは、1994年10月7日に日本語・ロシア語にて作成・署名された。日本語・ロシア語は、同等の効力を持つ。

日本トルクメニスタン経済委員会

トルクメニスタン日本経済委員会

会長 室伏 稔

会長臨時代理 クリエフ チャルイ

副会長 バイルィエフ パティル